JRFU
Japan Freight Railway Union Tohoku Young
No. 8
October 20, 2026
Publisher T. Okubo

年末手当満額獲得闘争開始!!

基準内賃金×2.9ヵ月

回答指定日　11月13日（金）　支払指定日　12月4日（金）

中央本部は10月19日、「2026年度年末手当の申し入れ（申第5号）」の団体交渉を行いました。申し入れにあたり以下の項目を主張しました。

- 生活改善の必要性:春闘での賃上げや夏季手当があったものの、物価高騰が続いており生活改善には至っていない。
- 過酷な労働環境の改善: 熊本地震をはじめとする自然災害や輸送障害、深刻な人員不足（新入社員の早期退職など）の中でも奮闘する組合員への報いを求める。
- 現場で重大事故が相次いでいることから、「安全輸送の確立」を最優先の課題として求める。

会社の回答と、収入動向の概要は以下の通りです。

経営状況の厳しさ

月間累計で約102.2%の進捗となっているが、10月期改定で収入計画を下方修正しており、108%程度で推移しなければ、年度初計画から収入が下回ることとなる。

鉄道輸送部門

北海道の農産物や化学品は回復傾向にあるものの、自然災害や室蘭線の路盤流出などの影響により、収入が大幅な計画未達となっている。

事業開発部門

修繕費の負担などがあるものの、概ね計画通りに進捗している。

今後の姿勢

組合員の奮闘には大きな感謝を示す。しかし会社としても、厳しい収支状況を踏まえたうえで、今後の交渉で誠意を持った回答を行いたい。

第2回交渉は、10月26日(月)です。